

科目名称：	こども特演Ⅳ（保育内容（人間関係の指導Ⅰ））	
担当者名：	上野 幸子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
幼児は多様な人間関係を通じて自他理解、社会関係や社会性を発達させる。乳幼児期の子どもを取り巻く人間関係の現状と課題について学び、乳幼児期における「人とかかわる力」の育ちについて理解を深める。		
授業の達成目標・到達目標		
①乳幼児期の子どもを取り巻く人間関係の現状と課題について知る。 ②乳幼児期における「人とかかわる力」の育ちについて理解を深める。 ③教材研究を通して、あそびの重要性を学ぶとともに、保育者に必要な協同性、実践力を養う。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	80			20	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 保育内容の構造と領域「人間関係」について	乳幼児期の人間関係の育ちや特徴について事前に考えを深めておくこと	20分
第2回 子どもの人間関係をめぐる現代的課題(1)現代社会の子どもを取り巻く諸問題について	前回授業時に配布した資料を復習しておくこと	60分
第3回 子どもの人間関係をめぐる現代的課題(2)これらの保育・幼児教育求められるニーズおよび重視すべきこと	前回授業時に配布した資料を復習しておくこと	60分
第4回 人とのかかわりと育ち(1)0歳児	前回授業時に配布した資料を復習しておくこと	60分
第5回 人とのかかわりと育ち(2)1,2歳満児	前回授業時に配布した資料を復習しておくこと	60分
第6回 人とのかかわりと育ち(3)3歳以上児	前回授業時に配布した資料を復習しておくこと	60分
第7回 教材研究(1)光る泥団子づくり	課題(教材)について調べ、必要な資料や材料などを用意しておくこと	60分
第8回 教材研究(2)発表、振り返り	課題(教材)について調べ、必要な資料や材料などを用意しておくこと	60分
第9回 人とのかかわりとあそび(1)あそびとはなにか	前回授業時に配布した資料を復習しておくこと	60分
第10回 人とのかかわりとあそび(2)年齢別にみるあそびの中での関係発達	前回授業時に配布した資料を復習しておくこと	60分
第11回 人とのかかわりとあそび(3)あそびを通して学ぶもの	前回授業時に配布した資料を復習しておくこと	60分
第12回 教材研究(3)集団あそび(連続性、発展性)を考える、話し合い	課題(教材)について事前に調べ、必要な資料や材料などを用意しておくこと	60分
第13回 教材研究(4)模擬保育の実践	課題(教材)について事前に調べ、必要な資料や材料などを用意しておくこと	60分
第14回 教材研究(5)記録、振り返り	課題内容について自己の取り組みを振り返り、整理しておくこと	60分
第15回 まとめ	これまでの学習内容を見直し、しっかり復習しておくこと	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
実技試験20%(授業への積極的関与を含む)

課題に対するフィードバック

授業で提出した演習課題の成果物やワークシートについては、点検・添削された後、次回以降の授業で返却し、講評する。

教科書・参考書

教科書：使用テキストなし。適宜、資料を配布する。
参考書：『最新保育講座8 保育内容「人間関係」』(ミネルヴァ書房)、「幼稚園教育要領」文部科学省、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」内閣府、文部科学省、厚生労働省、「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館)